

共通教養科目について（2014年度入学者に適用）

本学の共通教養教育は、自立した良識ある市民としての判断力と実践的能力、国際的感性とコミュニケーション能力を有し、自ら成長することのできる人材を養成することを理念とし、その具現化をめざす以下の方針に基づいて教育課程を編成しています。

1. 学部・学科の枠組を越えた幅広い分野の共通する科目を履修することにより、神奈川大学の学生として身に付けるべき、広い視野と総合的な知性を涵養するための科目を配置しています。
2. 現代社会の諸課題や学際的分野等、時代の要請に応える内容を包括した科目を配置しています。
3. 学部・学科の専門教育と有機的に関連させるための科目を配置しています。
4. 大学生活に順応できるよう、全学必修科目として初年次導入教育科目「FYS（ファースト・イヤー・セミナー）」を配置しています。
5. グローバル社会において必要とされる外国語運用能力を身に付け、世界の多様性の認識や異文化理解を促進するため、英語に加えて、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語の外国語科目を配置しています。

共通教養科目は、1年次から4年次まで全年次を対象として開講されている科目です。下の図のようにいくつかの分野に分かれています。各分野には卒業までに修得しなければならない単位数（卒業要件単位数）が、また進級に必要な単位数が定められています。この単位数は、入学年度、学科で異なりますので、必ず専攻科目のページに記載の「卒業要件」「進級要件」を確認してください。

共通教養科目								
共通基盤科目						共通テーマ科目		
FYS (必修)	外国語科目 (必修)	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野	生活と社会	生活と科学	自然と環境